自宅で簡単! 発光インクをセットするだけでOK!

ブラックライト印刷できます

対応プリンター（EPSON）

現行機種：PX-105、PX-1004
旧機種　：PX-101

※イメージ写真

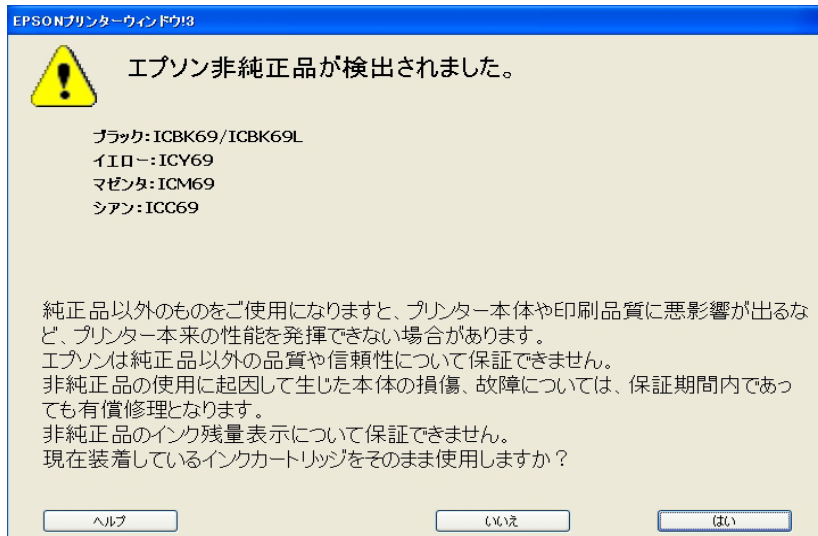
INDEX

染料インクは使用できません

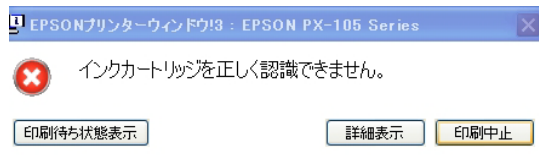
インクのセットはとっても簡単！いつもお使いのインクをセットする要領と一緒！

インクカートリッジの使用方法

インク交換時の操作方法について

インク交換時や印刷時に「エプソン非純正が検出されました」と表示されます。
ご納得の上「はい」をクリックしてください。その後、正常に作動致します。

インク残量が少なくなると…？

インク残量が少なくなると下記の表示が出て印刷が止まります。
プリンタープロパティのインクカートリッジ交換画面から交換作業に入り、表示されているインク残量の少ないカートリッジを抜きます。カートリッジ内のインク残量を確認し、インク量が少ない場合はインク補充後に再度カートリッジをセットして下さい。インクが十分残っている場合は、そのままセットして下さい。
IC69系のチップはオートリセットチップのため、上記画面が出た後にカートリッジを抜き差しすると満タン表記に変わります。

＊オートリセットチップとは？
自動的に残量をリセットし、使用可能な状態にプリンターを保ちます。
インク残量に関係なくご使用出来ますが、実際のインク残量とは異なりますので、インクを空打ちする恐れもありますので注意が必要です。　※カートリッジ、チップは消耗品となります。

インクカートリッジに緑色の基板が付いている事を確認して下さい。万が一、基板がないままプリンタに装着するとプリンタが破損します。
※取れる原因となりますので緑色の基板には手を触れないで下さい！

インクカートリッジを箱から取り出し、半透明のキャップを取り外します。

※このキャップは輸送時のインク漏れを防ぐためのものです。
※このキャップを付けたままプリンターにセットするとインクが出ません。

カートリッジ挿入場所の色シールと、インクカートリッジのゴム栓の色を合わせてセットして下さい。
発光インク（R）はシアンの場所にセットします。

カートリッジ挿入場所の色シールと、インクカートリッジのゴム栓の色を合わせてセットして下さい。
発光インク（G）はマゼンダの場所にセットします。

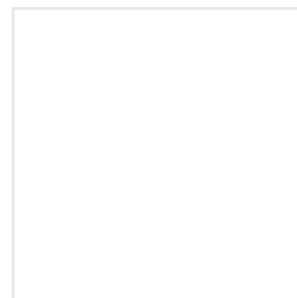
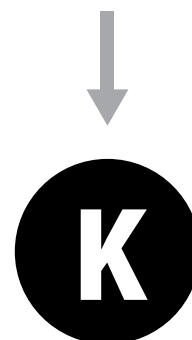
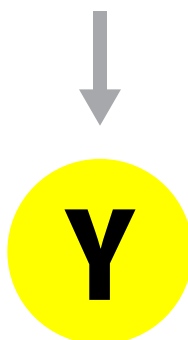
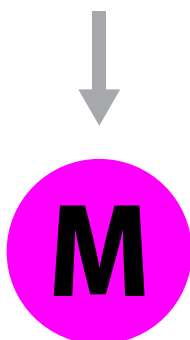
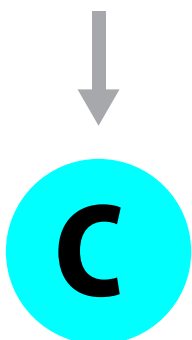
カートリッジ挿入場所の色シールと、インクカートリッジのゴム栓の色を合わせてセットして下さい。
発光インク（B）はイエローの場所にセットします。

カートリッジ挿入場所の色シールと、インクカートリッジのゴム栓の色を合わせてセットして下さい。
通常インク（K）はブラックの場所にセットします。

※カートリッジを認識しない場合は、再度セットしなおして下さい。

以上でセット完了です。

※上記の手順が完了しましたら、ヘッドクリーニングを行なって下さい。
ヘッドクリーニング後、印刷の前にノズルチェックを行なって下さい。

※ノズルチェックを行った例です。必ずブラックライトを照射してご確認ください。ブラックライトを照射しないと印刷結果を確認できません。
機種によって、ノズルチェックの印刷結果は異なりますが通常インクと同様にかすれがない場合問題ありません。
インクが正常に印字されていれば、「印刷の仕方STEP（1）P.4〜」と「印刷の仕方STEP（2）P.11〜」へ作業を進めてください。
ノズルチェックでインクが擦れていたり、通常インクが混ざって印刷される場合はクリーニングを行ってください。よく使用されているプリンタの場合、通常インクが抜けるまで時間がかかる場合がございます。数回ヘッドクリーニングをして改善されない場合は、少し時間をおいてからノズルチェック・ヘッドクリーニングを行ってください。

ブラックライトインクカートリッジの印刷の仕方 STEP（1）

ブラックライトインクを充填しただけでは、画面通りの印刷ができません。そのため、**ブラックライトインク専用の色変換処理を行う必要**がございます。

色変換処理を自動で行う専用ソフトを無料配布しておりますので、まずは専用ソフトを下記 URL よりダウンロードしてください。

http://soken-creative.com/?mode=f9

このような印刷が自宅で簡単。ブラックライトアートを楽しめます。

ブラックライトインクによるフルカラー印刷が可能！
文字、イラスト、写真までもが高精細にプリントアウトできる！
他社のブラックライトインクとはレベル（輝度・耐候性）が違う！

ブラックライトによる見え方の違い

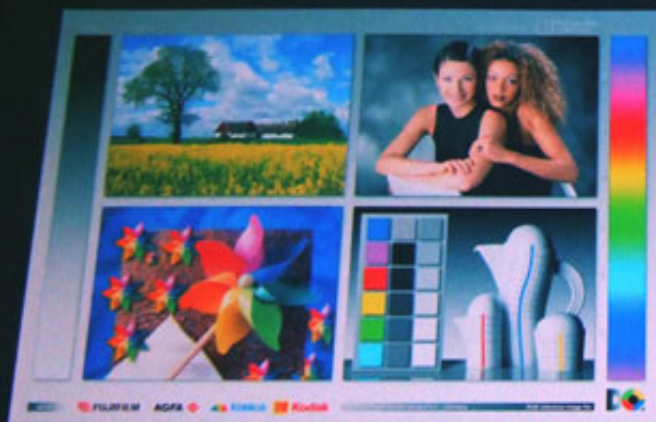
株式会社 SO-KEN ではよりクオリティーの高い印刷品質をご提供する目的でブラックライトの波長による色の違いや誤差を軽減するため 4 つのピーク波長設定を設けております。
現在、市場に出ているブラックライトはメーカーや光源によってピーク波長が異なります。通常の印刷物も照射する光源によって見え方が異なるようにトリックプリントも照射するブラックライトのピーク波長によって見え方が異なります。

現在トリックプリントは 350nm ～ 380nm に対応したインクとなります。
そこで、市場で流通しているブラックライトのピーク波長が 365・370・375・380 のものが多いこともあり、4 つの波長設定を設けております。この細かい設定により、高品質な発光フルカラー再現が可能となり、よりお客様に満足して頂けるものと考えております。
注：ブラックライトの波長と異なる波長設定で見ると色味やコントラストが元データと違って見えるのでご注意下さい。
注：フリーソフトのピーク波長設定は 2 種類になります。詳しくは P.9 をご覧ください。

左の画像をそれぞれ違うピーク波長（左上から、ピーク波長365、ピーク波長370、ピーク波長375、ピーク波長380）で印刷しました（写真下）。写真を撮影した際に照射したブラックライトは「ピーク波長370」です。

照射するブラックライトと印刷時の波長が合っていれば綺麗な色に発色し、照射するブラックライトと印刷時の波長が異なれば印刷物の色味が異なる事が分かります。

※カメラで撮影しております都合上、色味が若干異なる場合がございます。予めご了承ください。

ピーク波長365　ピーク波長370

ピーク波長375　ピーク波長380

※波長が合わない色設定でトリックポスターやトリックカードなどの印刷物を印刷すると、綺麗な色再現が出来かねます。
お客様の見る環境（ブラックライト器具）に合わせてご注文ください。

※波長が分からない場合はお気軽にお問い合わせください。

※ピーク波長 365、370、375、380 は当店がトリックポスターの色変換作業を行う時に使用する名称で、その照明器具のピーク波長を表すものではございません。

★Photoshop を使って印刷する場合★

《対応 Ver.》 CS3、CS4

Photoshop CS３をお使いの方

ピーク波長350用の色変換自動処理スクリプトをご利用の場合、ダウンロード後に**拡張子を「.jsxbin」から「.jsx」に変更**してご利用ください。

ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存してください

ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに好きな場所に保存してください。

次にPhotoshopを起動し、印刷したい写真やイラストを開きます。

開いた画像が**CMYKモードの場合はRGBモードに変換**します。そして、メニューバーから「ファイル」→「スクリプト」→「参照」を選択します。

次に読み込みの画面が開きますので、ダウンロードしたファイルを読み込みます。

※ファイルの種類をJavascript バイナリファイルを選択してください。

変換処理が完了しましたら印刷してください。

※発光インク用の画像が表示されますが、実際は元データの色に近く印刷されます。

カラー処理(N):
カラーマネジメントなし
プリンタダイアログボックスでカラーマネジメントを無効にしてください。
プリンタプロファイル(P)：
作業用 RGB - sRGB IEC61966-2.1

※Photoshopの印刷画面でカラー処理部分を「カラーマネジメントなし」を必ず選択してください。

ピーク波長による変換の違いについて、詳しくはコチラをご覧ください。

★当店で販売しているブラックライトで「ピーク波長 365」と記載しているブラックライトの場合は「ピーク波長 350」をお選び下さい。

★当店で販売しているブラックライトで「ピーク波長 370/375/380」と記載しているブラックライトの場合は「ピーク波長 375」をお選び下さい。

★TRICKPRINT CONVERSION LITE (フリーソフト) を使って印刷する場合★

トリックプリントコンバージョンLITEについて

トリックプリントコンバージョン LITE は、ブラックライトアートを簡単に印刷するための色変換フリーソフトウェアです。

対応 OS
WindowsXP(SP3)
（すべて日本語版での対応）

■システム条件■
CPU　Intel Pentium4 以上　AMD Athlon64 以上
または、同等以上の CPU
Memory 1GB 以上　RAM
（但し、WindowsVista 以上では使用 OS が推奨する RAM 以上）
HDD　標準使用において 100MB 以上
画面解像度　1024×768 以上

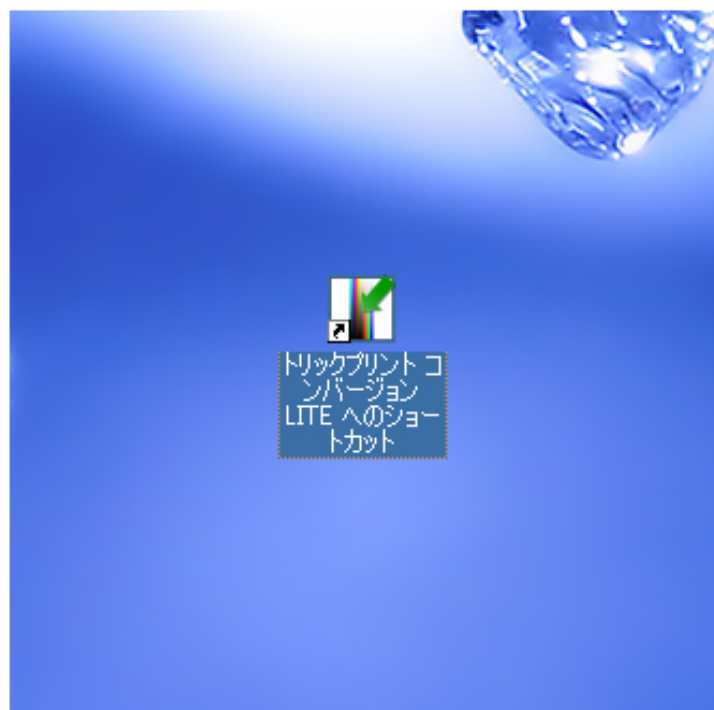
トリックプリントコンバージョンLITE

ブラックライトアートにしたい
写真・イラストファイル

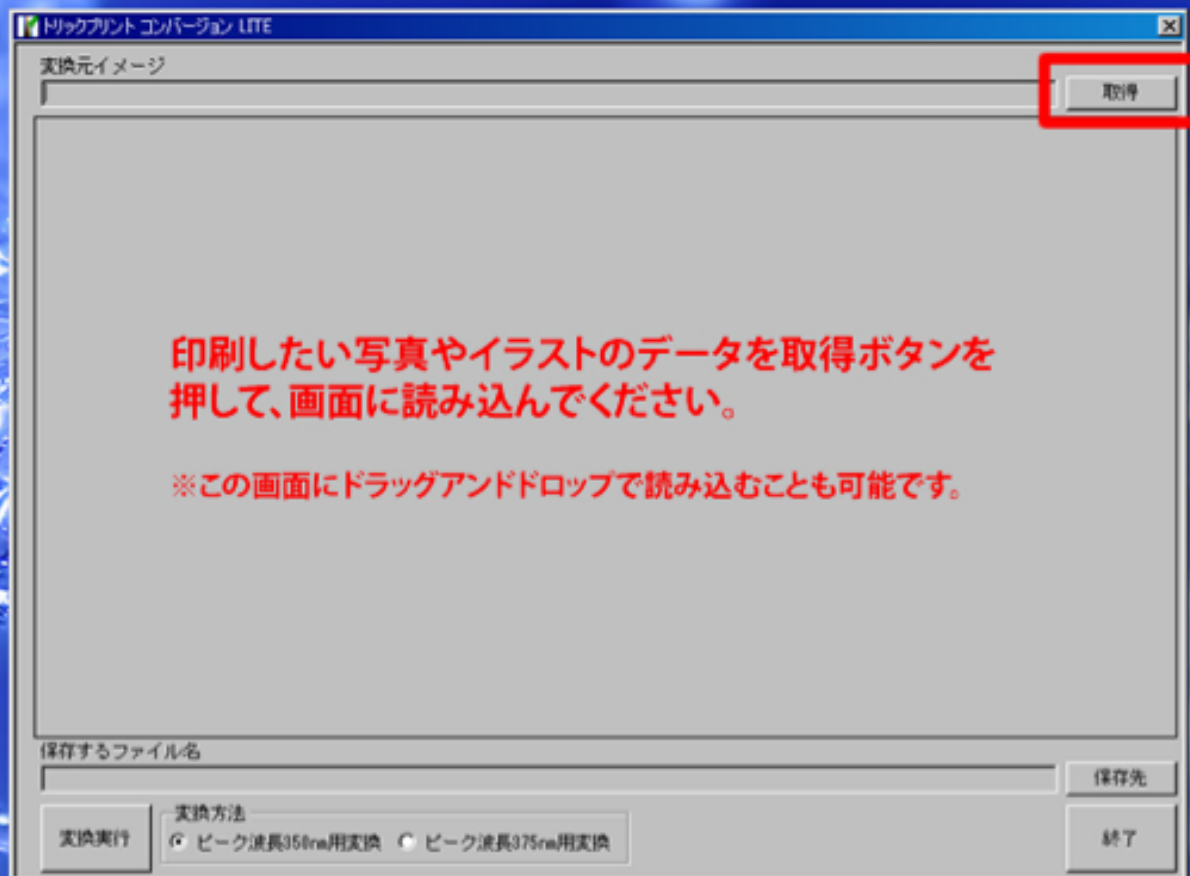
ブラックライトアート用
印刷データに変換

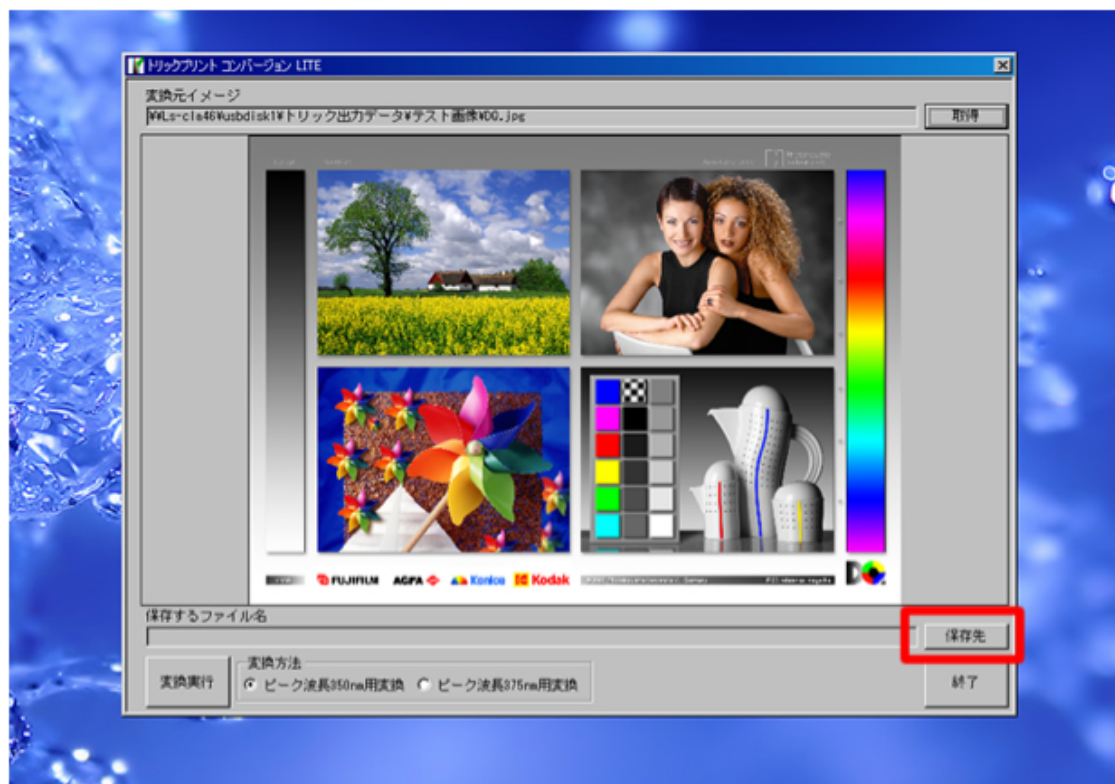
トリックプリントコンバージョン LITE を使うと、家庭用小型インクジェットプリンターで、気軽にブラックライトアートを印刷して楽しむことができます。トリックプリントに対応しているインクカートリッジ（プリンター）を購入・プリンタに充填後、トリックプリントコンバージョン LITE にてトリックプリントにしたい画像を変換し印刷するだけの簡単作業です！

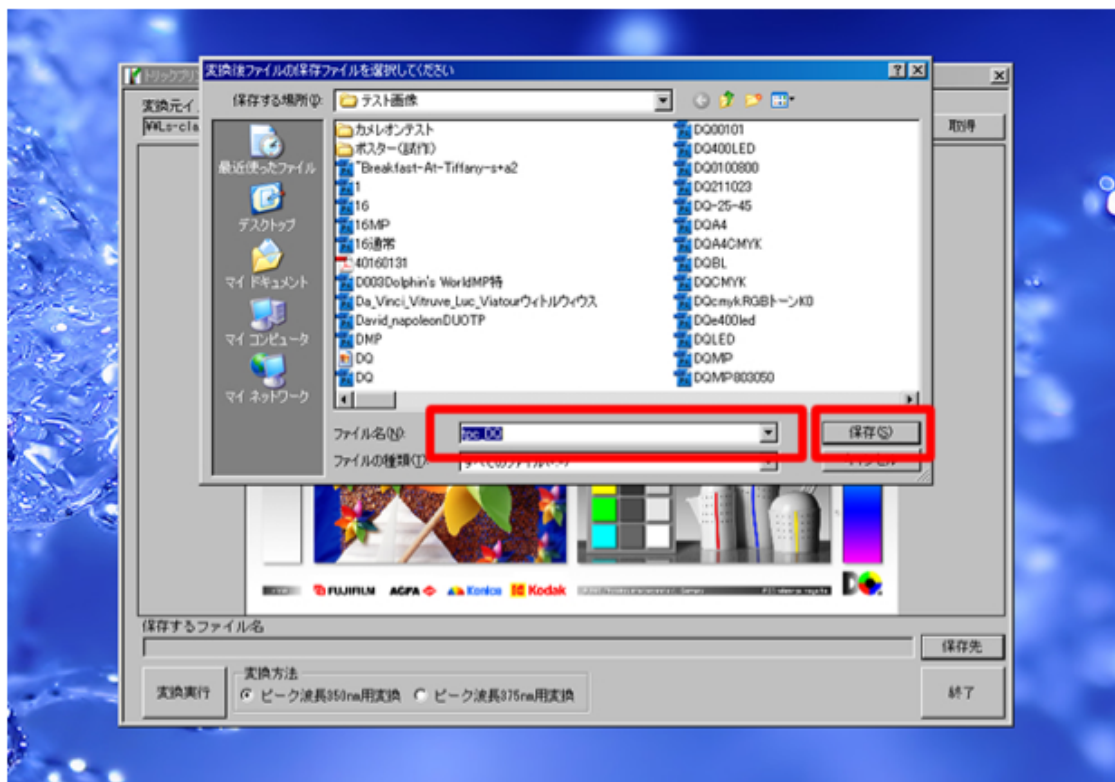
トリックプリントコンバージョン LITE (Ver1.0)
■免責事項
指定インク以外での使用の禁止致します。当ソフトを使用して生じたいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。
日本国内での使用に限ります。記載されている動作環境以外での使用の禁止致します。
リバースエンジニアリングの禁止致します。ソフトウェアの改変、転売禁止致します。

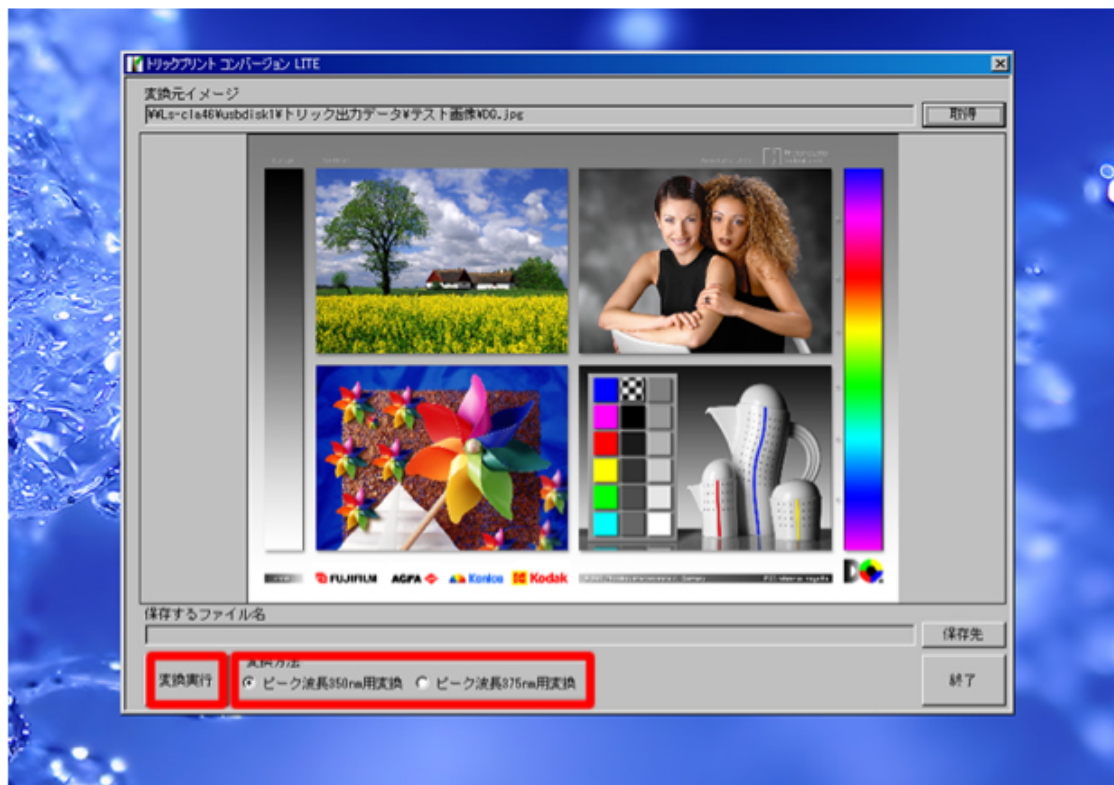
ソフトウェアの使い方

ダウンロードページからダウンロードしたZIPファイルを解凍し、インストーラの指示に従いインストールすると、デスクトップやスタートメニュー「すべてのプログラム」に「トリックプリントコンバージョンLITEへのショートカット」が表示されるようになります。

ソフトを使う場合はアイコンをダブルクリックしてください。

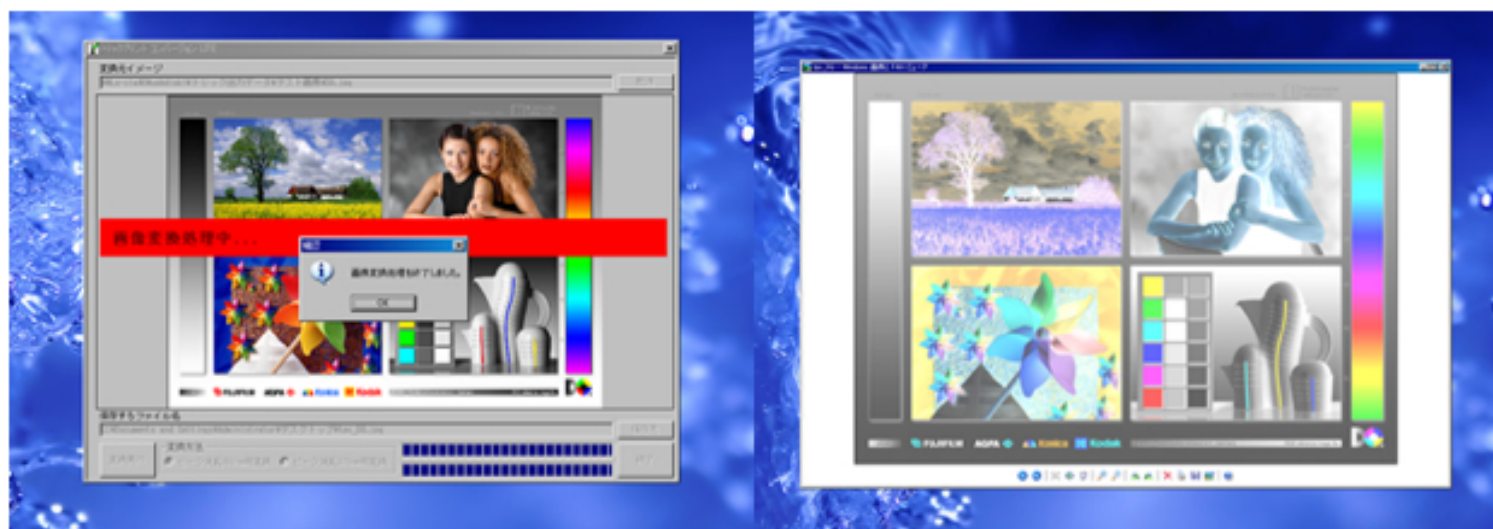
1.アプリケーションの起動、印刷する画像の読み込み

印刷したい写真やイラストのデータを、取得ボタンまたはドラッグアンドドロップで画面に読み込んでください。読み込み可能なファイルは **JPEG、BMP、PNG、TIF** ファイルです。

2.読み込んだ画像の保存先を設定

次に保存先をクリックして、ファイルの保存先を設定します。デスクトップやマイピクチャなどの好きな場所にファイル名を決めて保存してください。

※デフォルトでは読み込んだ画像ファイル名の頭に、「tpc_●●」という名前で保存されるように設定しております。

ファイル名と保存先が決まったら、保存ボタンをおしてください。※この段階ではまだファイルは保存されておりません。

3.変換方法の選択、変換の実行

次に変換方法を「ピーク波長 350nm 用変換」または「ピーク波長 375nm 用変換」の 2 種類から変換方法を選択して、横の変換実行ボタンをおしてください。
※お使いのブラックライトの波長により、印刷する際の色変換方法が異なります。

当店で販売しているブラックライトで「ピーク波長 365」と記載しているブラックライトの場合は「ピーク波長 350」をお選び下さい。
当店で販売しているブラックライトで「ピーク波長 370/375/380」と記載しているブラックライトの場合は「ピーク波長 375」をお選び下さい。

4.変換処理の終了、印刷データ作成完了

変換実行ボタンをを押すと、「画像変換を実行しますか?」と確認画面が開きますので、OK ボタンを押し変換が完了されるのをお待ちください。無事変換が完了しましたら、2 の手順で設定した保存先にファイルが保存されております。
変換画像をご確認いただき、プリンタ設定（次項参照）を行い印刷します。

ブラックライトインクカートリッジの印刷の仕方 STEP（２）

プリンター設定について

ブラックライトアート印刷を楽しむためには「ブラックライトインクカートリッジの印刷の仕方 STEP（１）」で行った Photoshop で色変換（色変換スクリプト）、またはトリックプリント色変換ソフトウェア「トリックプリントコンバージョン LITE」で色の変換を行った後、各種プリンタに合わせた印刷設定を行い印刷します。

windowsの場合の設定例

※ブラックインクが多少出てしまうなどの現象が起こる場合は、「印刷品質」の「標準」を「きれい」に変更し印刷してください。
または、画像の解像度の低さによりブラックインクが出てしまう場合もございますので画像の解像度を上げて印刷するなどご対応ください。

macの場合の設定例

基本設定 （必須）

①用紙の種類は「EPSON 写真用紙」を選択

②印刷品質は「きれい」を選択

応用設定 （推奨）

③色補正は「色補正なし」を選択

印刷の前に、プリンタの設定を行います。用紙設定に関係なく「EPSON 写真用紙」を選択してください。
弊社では「EPSON 写真用紙」での印刷を推奨しております。
詳細設定を選択して、設定変更をクリックします。カラー設定は「色補正なし」を選択して OK をクリックします。

以上でプリンタ設定は完了となります。

※「普通紙」などで印刷するとブラックインクを同時に印刷する場合がございます。
※画像の解像度の低さにより黒インクが出てしまう場合がございますので画像の解像度を上げて印刷するなどしてご対応ください。

トリックポスターに最適な用紙は？

蛍光増白剤とは…

紫外線により青紫色の蛍光を発する染料。紙や繊維をより白く見せるために用いられる。
また、洗剤に混合して、布地の黄ばみを消す。蛍光剤。蛍光漂白剤。

下記のように同じような白い紙でも蛍光増白材が含まれている紙とそうでない紙が有ります。

当社取り扱い用紙（写真右）は蛍光増白剤がはいっていない用紙ですので、綺麗に光ります。
一方写真左は蛍光増白剤の入っている用紙のため用紙自体がブラックライトに照らされ青く光り、綺麗な発光印刷が楽しめません。

蛍光増白剤の入っていない各種用紙を WEB ショップにてご用意しております↓↓
http://soken-creative.com/?mode=cate&cbid=1437245&csid=3

または、「クリエイティブプリント.COM」を検索 → 左列のカテゴリー下部の「トリックプリント対応メディア」をご覧ください。